



大森 正治 議員

「平和資料室」の新設は？

教育
委員長

特別展示は検討したい



戦災を記録した書籍

【大森】戦後70年、戦争展・戦跡めぐり・戦災の発掘などが取り組まれている。戦争の実態を次世代に継承するために意義深い。

町内には、大山口列車空襲や輸送船空襲沈没事件があった。これらの資料を収集、整理、保存し、平和文化として町内外へ発信したらどうか。

【教育委員長】列車空襲は、「大山町史」「鳥取県の戦災記録」「悲しみは消えず」などにまとめられ、教育研究

所が収集、保管している。永安丸空襲沈没事件については、TBSテレビの取材協力中に映像資料も入手でき、冊子にする作業を進めている。

【大森】本・冊子・絵・紙芝居・写真などの資料を常設展示するために、「平和資料室」を新設したらどうか。

【教育委員長】特別展示は検討するが、常設展示の「平和資料室」までは考えてない。
【町長】教育委員会と連携して取り組む。

遺跡保存のため

町道の設計変更は？

町長

変更は必要ない

【大森】町道退休寺線の

新設にあたり、遺跡の事前調査した結果、退休寺の歴史的価値を高める経塚が発見された。これはどのように評価できるか。

【教育委員長】退休寺以前の寺院の存在を示すもので、地域の歴史を考えるうえで重要な遺跡である。

【大森】退休寺への年間の観光客数とバス台数は。新道の費用対効果は。

【町長】関係者の話では参拝者は約千人、バスは20台程度とのこと。地元からの要望であり、町政の発展につながる。費用対効果と考える。



発掘された退休寺の経塚と旧参詣道

は出していない。

【大森】経塚の一部を削らないように道路の設計変更は可能か。

【町長】経塚と道路が重なる部分は削るので

はなく、盛り土をする

【大森】経塚の外形は整備保存するのか。

【教育委員長】元の姿を大事にする。